

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「和んで、馴染んで、つながって」という、馴染んだ地域の中で、その人らしく、他の入居者様や地域の方々和やかにつながって暮らして行ってほしいということで、理念をかかげています。	
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を共有できるよう、目に付くところにかかげ、日々理念の実践に取り組んでいます。	○ 今後も理念の実践に向けて努力をしていきたい。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議などで理解を求めています。家族にもお話しして理解を得ています。	○ 今後も家族や地域への理念の浸透に努めていきたいと思います。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近くに商店街があり、買い物や散歩の途中で声をかけて頂いたり、外のベンチに座っていると立ち寄ってくれる。時々ギター好きの方が立ち寄ってくれ利用者様に聞かせてくれる。魚屋さんが小さなお子さんを連れて来てくれると、利用者さんはとても喜んでおられます。	○ 今後も地域の方々との交流を重ねることにより地域と密着したホームを目指します。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	敬老会の催しや、地域の盆踊り大会、小学校の運動会などに参加させて頂いています。	○ 今後も、地域の行事に参加させて頂きながら、地元の方々との交流を図っていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	実施に至っていない。	○	地域の方を対象にした介護教室や認知症などの勉強会などを開いたり、地域に対してのボランティアなどを考えていけたらとおもいます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者がまず評価の意義を理解し、勉強会において職員に伝え各自、自己評価することにより、共に考え改善に取り組んでいます。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様やご家族の了解を得た上で、行事や日常の様子などを紹介しながらサービスの実際や取り組みを報告させて頂いています。そして話し合うことにより、個々の利用者様のニーズの向上のための地域の情報も頂いています。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政のことを質問すると気軽に教えて頂いたり、時には資料を持って説明に来て下さる時もあります。こちらも普段から足を運ぶように心がけています。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者は研修などで学ぶ機会があり、書籍などによる自己学習も心がけているが、職員全員にはまだ機会を持っていない。実際に活用されている方もいる。	○	職員全員に研修・勉強会への参加など学ぶ機会を持つようにしたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	カンファレンス・勉強会により資料を使った話し合いを持ち学ぶ機会を持っています。日々の利用者様への声かけや態度にも注意をはらい、利用者様の尊厳を尊厳を害することの無いように注意を払っている。	○	職員全員の研修会などへの参加を促し学ぶ機会を広げたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者様やご家族の不安、疑問点を十分伺いながら、文書と口答で説明し納得して頂いています。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の様子や会話などにより、意見や不満を聞き出すように努力し、それについて速やかに関係者で検討し、速やかに対応できるようにしています。	○ 利用者が管理者や職員等に、意見や、不満、苦情を言いやすい雰囲気作り、又、そういう機会作りを新たに考えて行きたいです。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、月次報告という形で暮らしぶりや健康状態など文書で発行し確認して頂いている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議及び日々の情報提供を行う際にも語彙検討を伺うように努め、運営に反映できるようにしています。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスや日々の面談、申し送り記録により、意見、提案を上げてもらっています。そして反映できるように努めている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	常に利用者様や家族の状況を考え、カンファレンス等で話し合いながら勤務体制、調整に努めている。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者様のダメージを考え、職員の移動は無いように心がけているが、離職などで職員が変わる場合は、日勤帯から入り徐々に馴染みの関係を築いてもらって、夜勤帯へ入っていくようにしている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>実践者研修や管理者研修などはもちろん、グループホーム関連の勉強会や県、地域の福祉関連の勉強会・研修など受ける機会を与えています。その後のレポートの提出を促すことにより、研修内容を再確認し実際の業務の中で実践していけるよう指導をしています。</p>	○	<p>今後も職員の段階に応じての研修、勉強会の機会を与えていきたいと思っています。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は交流する機会が多くあるが、職員まで浸透していません。</p>	○	<p>同業者のネットワーク作りを進めていきたいです。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>個人面談にて不安に思っていることなどを聞いたり、気分転換にみんなで外食に出かけるなどしています。</p>	○	<p>今後も職員のストレス解消に努めていきたいです。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>勤務実績を把握し、個々の努力、実績を認め反映しています。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>最初の利用に関してはご本人はとても不安を感じておられると思うので、不安に思っていることそれからこれからの暮らしの中で求めていることを十分聞かせて頂く様に努力させて頂いています。</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご本人同様、お話を聞かせて頂き、受け止める努力をしています。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の際に十分にお話を聴かせて頂いて、まず何が必要か支援を見極め、他のサービス利用が必要なときは紹介などを行っています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心し、納得してサービスを利用して頂くために相談、見学から始まり徐々に馴染めるように支援し、本人、家族と相談しながら行っています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者様と共に過ごし合える関係を持つことに努めています。しかし、勤務日数の浅い職員もおり全員には浸透していないように思われます。	○	職員の人材育成に努めます。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員は利用者様と共に過ごし合える関係を持つことに努めています。しかし、勤務日数の浅い職員もおり全員には浸透していないように思われます。	○	職員の人材育成に努めます。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	常々、利用者様に変化や新たな希望などがあれば、連絡を取るようになっているし、面会時など日々の様子などお話しせてもらったり、ご家族のご意見なども聞くようにしています。そして本人がご家族の顔を見たいと希望されれば連絡を取り来て頂いています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に来て下さったり、年賀状などを出したりしています。馴染みの場所に出かけたりもします。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	日常の中で利用者同士の喧嘩などもあるが、一人ひとりが孤立することなく職員が間に入ったり、利用者同士で声かけし支え合っているように努めており、実際そんな光景も見られます。	○	今後も、利用者同士のよりよい関係ができるよう支援していきたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	現在入居されている方達は、サービス継続中であり、具体的には行えていません。	○	今後サービスの利用が終了する方がいたら、退去後の相談や、たのサービスの紹介など行っていきたいと思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの個人を尊重した関わりを実践し、会話などの中で希望を聞き出すように努めている。困難な場合は本人本位に検討している。そしてセンター方式のアセスメントシートに移し検討している。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴などは、家族の面会時等に聞かせて頂いたり、センター方式のシートに書いて頂いたりしています。サービス利用の経過は等も入居時にアセスメントしている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日、介護記録と介護経過で記録し把握できるように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族、関係者との話し合いはもちろん職員からも、カンファレンスやケアの提案として文書で上げてもらいそれぞれを反映した介護計画を立てている。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1度のモニタリングを行っている。見直し以前に対応が生じた場合は、本人、家族、関係者と話し合い、現状に応じた計画を作成し、本人、家族にも確認を得ている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の介護記録、介護経過に実践、経過、気づきやその時の対応、ケアの提案を個別に記録し、情報を共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしている。	○	勤務日数がまだ浅い職員もおり、職員全員に記録の重要性が浸透していないので日々の指導や勉強会を行っていききたいと思います。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	運動が必要な支援者など施設内のPTに運動の仕方を指導してもらったり、不穏時にデイのお部屋へ気分転換に行ったりしています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員の方には運営推進会議にてたくさんの意見を頂いています。年に数回行事の時にボランティアをお願いすることがあります。学校の運動会など参加させて頂いたり、地域の図書館を利用したりさせてもらっています。1年に一度の消防の避難訓練、救急処置の講習なども行っています。リスクのこともあり警察との連携も行っています。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	出来ていません。	○	今後本人の意向を聞きながら、検討していきたいと思ます。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとは連携しています。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個別のかかりつけ医と相談しながら、定期的な通院、往診による受診を支援させて頂いています。そして、それぞれのかかりつけ医との連携を結びながら、緊急の医療にも対応して頂いています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症外来の受診を支援しており、何かあった時は相談員を通じて医師に相談できる体制をとっています。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	利用者にいつもと違う様子見られたときは、すぐに施設内の看護師に相談しています。特に気になる利用者の健康「チェック」を毎日お願いしています。医療の処置が必要時、地域の看護師にお願いする場合があります。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院期間中でも退院時の受け入れ体制は出来ており、病院との連携もとっている。	○	まだ、事例が少ないため今後備えてこれからも病院との連携に努めたいと思います。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	方針は共有しているが具体的な文書化はしていない。	○	具体的に文書化し、改めて話し合い共有をしていきたい。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	今後の変化についての検討や相談は医師と行っているが、準備は不十分である。	○	利用者の終末期の今後の変化に向けて、かかりつけ医と十分な話し合い検討を行い、準備をし、介護計画へも位置付けていきたい。
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	使用者様が混乱することのないように、ダメージを与えないように、本人、家族、ケアの関係者で話し合っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の尊厳については、カンファレンスや勉強会にて常々指導を行っている。個人情報保護についても同様である。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	それぞれの職員が日々の様子や会話のなかで本人の思いや希望を引き出すよう努めている。そして情報を共有しながら、個々に応じた説明をさせて頂き、納得しながら暮らせるよう支援している。	今後も利用者様が自分の希望を話しやすい雰囲気作り、また、声掛けを心がけていきたいです。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の業務を優先することなく、利用者様それぞれのペースに合わせて希望に添う支援をしています。	今後も職員全員が業務を優先することなく、利用者様本位の支援を心がけていきたいと思います。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	お孫さんにももらったアクセサリーをいつもつけている方もおられます。散髪、毛染め、パーマとも希望される時に地域の希望されるお店へ行って頂いてます。希望が出ない方などは声かけにてお店へ行ったり、施設内で職員がさせて頂くこともあります。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の力に応じて、みんなで協力しながらそして楽しみながら一緒に食事の用意、片付けを行っている。男性の方などは包丁とぎを自らされています。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲酒とタバコは医師から止められている方もおられるので共同生活という上で難しいが、お酒はお正月のお年始などで少しふるまっています。おやつや飲物などは思考に合わせて支援させて頂いています。	○出来るだけ思考に沿った好きなものを楽しんで頂けるように、取り組んでいきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	尿意・便意のない方も誘導・声かけにて排泄できるように支援している。夜間はポータブルトイレを使用されている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日、午前中・午後に関わらず、お一人おひとりの希望に沿って支援させて頂いています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	眠剤も服用されることなくスタッフの対応にて休んで頂いてます。夜間あまり休めなかった時は日中無理をしないように休んで頂くようにしています。家事の合間にもゆったりと休んで頂くようにして頂いています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	園芸や野菜作り、裁縫などを支援しています。時には釣りや散歩、又は外でお弁当や外食なども支援させて頂いています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望に応じて欲しいものを買って頂き、能力に応じては支払もして頂いています。お金は後日にご家族に請求させて頂いています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物に出かけられるたりしている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	希望が出た際にスタッフで支援できない場合はご家族に相談し実現できるように支援している。実際ご家族と旅行されたり、外食、買い物に行かれる利用者様もおられます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたいと希望が出た時はすぐに支援しています。お友達などからおハガキなどが来た際はハガキを用意し返事を出せるよう支援しています。	
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつも気軽に訪問してくれています。訪問して頂いた際にはお茶などを飲みながらゆっくりお話ができるように心がけています。	
(4) 安心と安全を支える支援			
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会も行い、身体拘束はもちろんのこと、日常の中での言葉かけにおいても拘束的なことばがないように取り組んでいます。	
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中鍵はかけていません。	
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	本人のプライバシーに配慮しながら、常に安全に配慮しています。	
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	お薬は鍵付の薬箱に保管させてもらっています。洗剤やプラスチック手袋など異食の可能性があるものは保管に気をつけています。包丁やハサミなど使用する時は見守りながらお願いしています。	
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	勉強会を行ったり、研修への参加をし知識を学んでおり、「ひやりハット」を書くことにより事故防止に努めている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	まだすべての職員にまで訓練が行き届いていません。	○	職員全員が定期的に訓練できる機会を作っていき、利用者様の急変や事故に備えたいです。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議などにより協力を、お願いしていきます。	○	災害に備え、地域の方々に協力をお願いしていきたく思います。事業所内の避難方法も身につけていきたいです。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスクケアマネジメントの支援については、リスクについて説明し話し合うことにより行っている。	○	今後も抑圧のない暮らしを支援するために、起こりうるリスクについて家族等に説明し話し合いながら支援していきたいと思ひます
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	少しでもいつもと違う変化が見られた際は速やかに情報を共有するように努め、看護師や主治医に相談をしている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	介護計画書と同時に一人ひとりが服用しているお薬の目的、副作用、用法・用途についてまとめ、職員全員が確認できるようにしており説明も行い、理解しています。個々にお薬を仕分、一日分ずつ薬箱に入れるようにしています。服薬チェックも服薬後必ず行うようにしています。症状の変化も速やかに情報を共有しています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	勉強会にて便秘の原因、及ぼす影響は理解するよう努めています。 繊維質を多く含んだ食事や水分補給をまめに行うなどの支援を行っています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	声かけ、誘導、見守り等を行い一人ひとりの力に応じた支援を行い、確認も行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日食料の確認を行い、水分量のチェックも行っています。それに応じて支援を行っています。	
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	うがいや手洗いの続行、手すり・ドアノブ等の除菌の徹底をおこなっています。	
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具やテーブルの除菌、調理前の手洗い等を心がけ、衛生管理に努めており、食材も新鮮な物を使用しています。	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ひまわりのトールペイントや活け花などやわらかい雰囲気、気持ちが安らぐような飾り付けを心がけています。	
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じてもらえるように、日めくり・タペストリーや季節の花を飾っています。生活感を取り入れた空間作りも工夫しています。	
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間の椅子の配置の工夫や居間以外の所々に椅子やベンチなどを置いて居場所作りを工夫しています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを 活かして、本人が居心地よく過ごせるような工 夫をしている	今まで使っていたダンスや小物、又家族の写真、趣味の将棋 板など本人や家族と相談しながら、居心地のよいお部屋を工 夫しています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換 気に努め、温度調節は、外気温と大きな差が ないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめ に行っている	換気や温度調節はまめに行っています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし て、安全かつできるだけ自立した生活が送れ るように工夫している	手すり、歩行器など配置しています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失 敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫してい る	職員全員が一人ひとりのわかる力を理解し、それを活かして 暮らせるよう混乱や失敗を防ぐ努力をしています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだ り、活動できるように活かしている	ベンチに座って日向ぼっこをしながら会話したり、お花や野 菜を植えたりして収穫、草引きなどしています。		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

職員は業務を優先することなく、利用者様を中心とした支援を心がけています。一人ひとりの力に応じた、その人らしい自立した生活を支援したいと思っています。限られた空間の中で、いかに生活感のある暮らし、季節感を感じてもらえるような工夫も心がけています。現在、リスクを考えた上でいかにその人らしい生活がしてもらえるか、理解し実践していこうと取り組み始めたところです。それに関して地域への協力も働きかけているところです。